

# 第4章

## 事業進捗管理・成果指標等



## 第4章 事業進捗管理・成果指標等

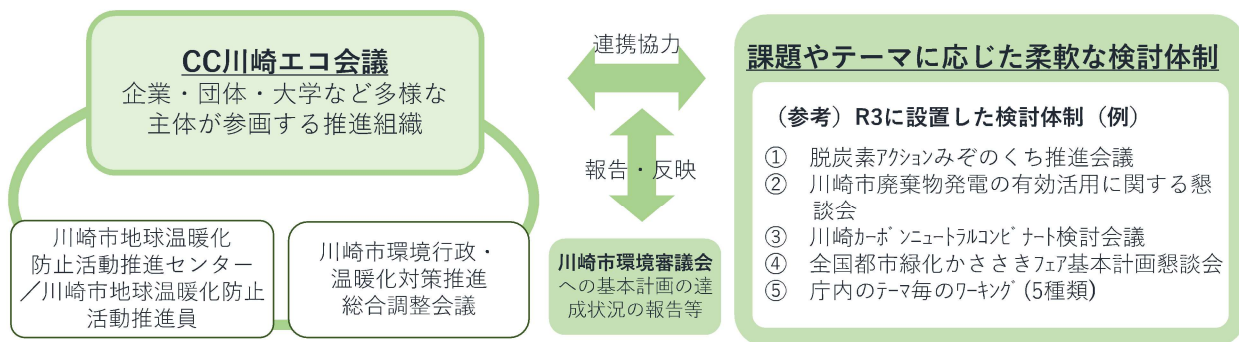
### 1. 事業進捗管理について

#### (1) 基本的な考え方

実施計画の推進体制・進行管理は、基本計画第7章で定めた「推進体制及び進行管理」に基づき、同様の考え方で進めていきます。

まず、推進体制については、川崎温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）を中心とした推進体制（プラットフォーム）のもと、市民・事業者との連携の取組を推進し、さらに、課題やテーマに応じて新規検討体制を設置し、柔軟な体制で取組を推進します。

続いて、進行管理については、基本計画に定める達成目標及び実施計画に定める成果指標等について、PDCAサイクルを基本とした進行管理を実施し、達成状況について年次報告書として取りまとめ、環境審議会に報告し公表します。



#### (2) 5大プロジェクトの進捗管理について

プロジェクトごとに年度毎の取組等を第2章のとおり設定し、取組状況、成果、課題、今後の方向性等について年次報告書として取りまとめ、環境審議会への報告及び公表を行うとともに、市民・事業者にわかりやすく発信していきます。

さらに、次項で定める成果指標等には、5大プロジェクトに関連する成果指標を抽出し、進捗状況について管理していきます。

#### 5大プロジェクトの進捗管理イメージ

##### 進め方

- ・ 取組の進捗を関係者間で確認し、継続的に改善
- ・ 社会変化等を捉えながら柔軟に見直し、必要に応じて新たな取組を設定

##### 年次報告書

プロジェクトごとに年度毎の取組等を設定し、取組状況、成果、課題、今後の方向性等を取りまとめ、公表

##### 成果指標

5大プロジェクトに関連する成果指標を抽出

## 2. 成果指標等について

脱炭素化の取組の進捗等を測る指標として、基本計画第4章で定める達成目標のほかに、次のとおり成果指標等を設定します。

温室効果ガスは市域の枠を超えて排出されるものであり、市の施策のみで目標達成が図られるものではないため、今後、実施計画における取組の進捗を管理していく際には、「温室効果ガス排出量削減目標」、「再生可能エネルギー導入目標」、「成果指標等」それぞれを総合的に評価しながら進めます。

また、電力の温室効果ガス排出係数などの「脱炭素化の社会状況を把握していくための項目」についても、数量把握を行っていきます。

### 次頁以降の成果指標等一覧表における対象マークの説明

**民生** : 民生系目標（▲45%以上削減）に関連する指標

**産業** : 産業系目標（▲50%以上削減）に関連する指標

**公共** : 市役所目標（▲50%以上削減）に関連する指標

**再エネ** : 再エネ目標（33万kW以上導入）に関連する指標

**P J 1** : 地域エネルギー会社を中核とした新たなプラットフォーム設立による地域の再エネ普及促進PJに関連する指標

**P J 2** : 川崎臨海部のカーボンニュートラル化・市内産業のグリーンイノベーション推進PJに関連する指標

**P J 3** : 市民・事業者の行動変容・再エネ普及等促進PJに関連する指標

**P J 4** : 交通環境の脱炭素化に向けた次世代自動車等促進PJに関連する指標

**P J 5** : 市公共施設の再エネ100%電力導入等の公共施設脱炭素化PJに関連する指標

**適応・みどり** : 気候変動適応策及びみどりの施策に関連する指標

※ 成果指標等一覧は、川崎市総合計画第3期実施計画を参考にまとめています

※ 成果指標等について、5大プロジェクトに係る指標を「成果指標」、それ以外の指標を「管理指標」として、それぞれ指標管理を行います





成果指標等一覧表

指標No	名称	現状	目安・目標等	目標に関連するもの				5大プロジェクトに関連するもの					適応・みどり
				民生	産業	公共	再エネ	PJ1	PJ2	PJ3	PJ4	PJ5	
1	市域の温室効果ガス排出量の削減割合	1990年度比▲23.6% 2013年度比▲10.2% (2019年度暫定値)	1990年度比▲26.0%以上 2013年度比▲13.1%以上 (2023年度)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
2	市域のエネルギー消費量	市域全体304,266TJ (2019年度暫定値)	市域全体306,807TJ (2023年度)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
3	市域のエネルギー当たりのCO <sub>2</sub> 排出原単位(市域のt-CO <sub>2</sub> /TJ)	市域全体64.6t-CO <sub>2</sub> /TJ (2019年度暫定値)	市域全体62.3t-CO <sub>2</sub> /TJ (2023年度)	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
4	市域の再生可能エネルギー導入量	20.5万kW (2020年度)	24.3万kW以上 (2024年度)	●	●	●	●	●		●		●	
5	地球温暖化の防止など、環境に配慮した生活を送っている市民の割合	49.9% (2019年度)	55%以上 (2025年度)	●						●			●
6	市民や市内の事業者による環境に配慮した取組(省エネなど)が進んでいると思う市民の割合	28.3% (2019年度)	30%以上 (2025年度)	●						●			●
7	CC川崎エコ会議会員数	全110団体 (2020年度)	全118団体以上 (2025年度)							●			
8	「かわさき生き物マップ」の投稿件数	832件 (2020年度)	2,000件以上 (2025年度)										●
9	環境関連ビジネスマッチング件数	110件 (2020年度)	600件以上 (2025年度)		●					●			
10	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅周辺人口	14.0万人 (2020年度)	14.5万人以上 (2025年度)									●	
11	広域拠点(川崎駅・武蔵小杉駅・新百合ヶ丘駅)の駅平均乗車人員	58.6万人/日 (2019年度)	59.8万人/日以上 (2024年度)									●	
12	地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅周辺人口	19.0万人 (2020年度)	19.6万人以上 (2025年度)									●	
13	地域生活拠点(新川崎・鹿島田駅、溝口駅、鷺沼・宮前平駅、登戸・向ヶ丘遊園駅)の駅平均乗車人員	50.1万人/日 (2019年度)	50.0万人/日以上 (2024年度)									●	
14	新築される建築物のうち、環境に配慮した建築物の割合	19.3% (2020年度)	23%以上 (2025年度)	●			●			●			
15	建築物環境配慮制度(CASBEE川崎)の届出件数に占めるB+ランク以上の割合	57% (2020年度)	57%以上 (2025年度)	●									
16	環境配慮建築物に関する説明会等実施回数	2回 (2020年度)	4回 (2025年度)	●									
17	木材利用促進イベントの参加者数	20人 (2020年度)	250人以上 (2025年度)	●									
18	産業部門のエネルギー消費量	197,824TJ (2019年度暫定値)	204,408TJ (2023年度)		●					●			
19	エネルギー転換部門のエネルギー消費量	40,660TJ (2019年度暫定値)	38,076TJ (2023年度)		●					●			
20	カーボンニュートラルコンピナート構築に向けたプロジェクト件数	-	15件以上 (2025年度)		●					●			